

第六回沖縄国際映画祭
TV DIRECTOR'S MOVIE
『作品賞』受賞作品

この映画は、どうしてもセッションしたい先輩と
共演・ライブするまでを記録した映画です。

LOVE SESSION

10.4
ROAD
SHOW

OKAMOTO'S
さかいゆう
RIP SLYME
槇原敬之
島袋寛子
Crystal Kay
吉田美奈子

<http://lovesession-movie.com/>

監督：板谷栄司

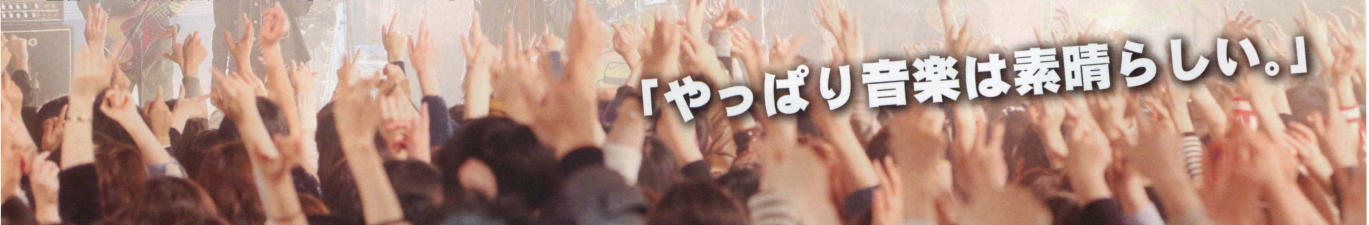
制作：岡本昭彦 ゼネラルプロデューサー：奥山和由 制作統括：港 浩一 プロデューサー：中村直史 上田浩平 技術プロデューサー：児玉 洋
撮影：小川経一 照明：植松晃一 朝倉康之 VE：大西幸二 録音：鹿又健一 セットデザイン：邨山直也 美術プロデューサー：木村文洋 美術進行：中村秀美
編集：与那嶺涼 平原卓治 整音：吉田 肇 題字：鯖大寺鯖次郎 音楽・テーマ曲：橋本しん(Sin)
構成：板谷栄司 三浦 淳 山内浩嗣 アソシエイトプロデューサー：秦野晃子 監督助手：後藤悠樹 助監督：飯屋隆典 志賀一寿 プロデュース：三浦 淳

配給：イオンエンターテイメント／よしもとクリエイティブ・エージェンシー 制作：フジテレビジョン 製作：「LOVE SESSION」製作委員会

若いミュージシャンが憧れのミュージシャンにセッションをオファー！ 貴重なリハーサルから一夜限りのライブまでを追った、音楽ドキュメンタリー。

若いミュージシャンが、憧れのミュージシャンにセッションをオファー！思いの丈を込めたビデオレターを見てもらう。オファーを受けたミュージシャンはどんなリアクションをするのか？果たして、その思いは届くのか？

オファーが成立したら、演奏したい楽曲もアレンジも全てアーティスト同士で決めてもらう。台本もストーリーも一切なしの完全ドキュメント。最後は世代を超えた一夜限りの『ラブ・セッション』！他では見ることのできない唯一無二のコラボレーション！憧れのミュージシャンとの『ラブ・セッション』を軸に、ミュージシャンの素敵なうんちくがたっぷり見られる作品。『やっぱり音楽って素晴らしい！』と観終わった後に誰もがそんな気分になるような映画です。監督には、音楽番組『僕らの音楽』、『FNS歌謡祭』の演出を10年手掛けてきた板谷栄司がストレートな音楽ドキュメントで初の映画作品に挑む。



「やっぱり音楽は素晴らしい。」

ARTIST



OKAMOTO'S

中学校からの同級生で結成された四人組ロックバンド。
2010年、日本人男子としては最年少の若さでアメリカ・テキサス州で開催された音楽フェス『SXSW2010』に出演。
アメリカ七都市を回るツアーや豪州ツアー、香港、台湾、ベトナムを回るアジアツアーなど、海外でのライブを積極的に行っている。
これまでシングル5作品、アルバム6作品を発表。
2014年はCDデビュー5周年を掲げて精力的に活動を行っている。



榎原敬之

1969年大阪府生まれのシンガー・ソングライター。1990年にデビューし、1991年の3rdシングル『どんなときも。』が177万枚という破格のセールスを記録。その後も『冬がはじまるよ』『もう恋なんてしない』などヒット曲を連発し、2004年にはアルバム総売上枚数が1000万枚突破の快挙を遂げる。2010年には自主レーベル『Buppu Label』を設立。その後もドラマ主題歌となった『四つ葉のクローバー』をリリースするなど、意欲的に活動が続いている。また他アーティストへの楽曲提供も多数。代表作はSMAPの『世界に一つだけの花』など。
最新シングルはフジテレビ情報番組『ノンストップ!』のテーマ曲にもなった『Life Goes On ~ like nonstop music ~』。



さかいゆう

高知県出身。高校卒業後、18歳の時に突然音楽に目覚め、20歳で上京。22歳の時、単身でLAに渡り独学でピアノを始める。2009年にシングル『ストーリー』でメジャーデビュー。2014年1月、CMで話題の楽曲『薔薇とローズ』を収録した3rdアルバム『Coming Up Roses』がアルバムチャート5位にランクイン。初の渋谷公会堂公演を含む全国ツアーも成功に収める。唯一無二の歌声と、SOUL・R&B・JAZZ・ゴスペル・ROCKなど幅広い音楽的バックグラウンドをポップスへと昇華させる、オリジナリティ溢れるサウンドで注目のシンガー・ソングライター。



島袋寛子

SPEEDとして12歳でデビュー。その後、ソロとしても精力的に活動を行っている。またプライベートで良く聴いているというジャズのプロジェクト『Coco d' Or』にて3枚のアルバムを発表。ミュージカル、映画等で演技にも積極的に取り組む一方、アロマセラピー・ボディトリートメント・カラーケアシステムの資格を持つなど多彩な活動をしている。
地元沖縄のFM OKINAWAで『島袋寛子のいいね! OKINAWA!』のパーソナリティもつとめている。
最新アルバム『私のオキナワ』を昨年8月にリリースし、第55回日本レコード大賞企画賞を受賞。また、2014年12月から日生劇場で行われるミュージカル『ヴィローナの二紳士』のジュリア役で出演することが決定している。



RIP SLYME

2001年3月にシングル『STEPPER'S DELIGHT』でメジャーデビュー。幅広い層に親しまれる洗練された独自のポップセンスと、コアなリスナーをうならせる高次元で織り成されるラップのかけ合いを両立させたサウンドが魅力。国内のヒップホップユニットとして初めての日本武道館ワンマンライブを行い、日本にヒップホップ文化を広く浸透させた。
昨年12月にはヒット・シングル『SLY』を収録した2年9ヶ月ぶり9枚目のオリジナル・アルバム『GOLDEN TIME』をリリースし、今年は母体結成20周年となる。



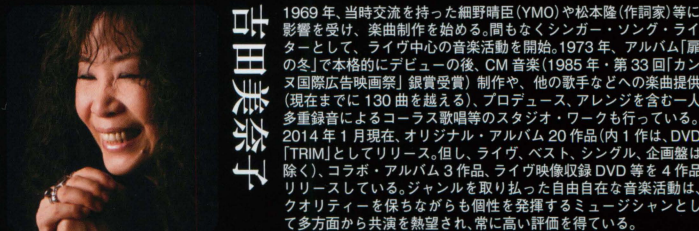
Crystal Kay

1997年7月にデビュー。2002年10月に発売した3rdアルバム『almost seventeen』は、オリコンチャート初登場2位という快挙を成し遂げる。2005年4月よりフジテレビ系ドラマの主題歌『恋におちたら』が大ヒット。2007年6月リリースのアルバム『ALL YOURS』がオリコン1位を獲得。2009年9月リリースのベスト・アルバム『BEST OF CRYSTAL KAY』はセールスもツアーも大成功させ、確固たる存在感を示した。2011年、活動の場をユニバーサルミュージックに移し、待望の移籍第1弾シングル『Superman』(プロデュース: BACHLOGIC)を、12月14日にリリースした。2012年6月27日には、待望の移籍後初となるアルバム『[VIVID]』もリリース。また、2012年9月8日に赤坂BLITZで行われたワンマンライブ『OK LIVE 2012 [VIVID]』を収録したDVD作品『OK LIVE 2012 [VIVID]』を2013年3月6日にリリースした。

<http://lovesession-movie.com/>

監督：板谷栄司

制作：岡本昭彦 セネラルプロデューサー：奥山和由 制作統括：港 浩一
プロデューサー：中村直史 上田浩平 技術プロデューサー：児玉 洋
撮影：小川経一 照明：植松晃一 朝食康之 VE：大西幸二 録音：鹿又健一
セットデザイン：郷山直也 美術プロデューサー：木村文洋
美術進行：中村秀美 編集：与那嶺涼 平原卓治 監音：吉田 肇
題字：鎮大寺鎮次郎 音楽・テーマ曲：橋本しん(Sin)
構成：板谷栄司 三浦 淳 山内浩嗣 アソシエイトプロデューサー：泰野晃子
監督助手：後藤悠樹 助監督：飯屋隆典 志賀一寿 プロデュース：三浦 淳
配給：イオンエンターテイメント/よしもとクリエイティブ・エージェンシー 制作：フジテレビジョン 製作：「LOVE SESSION」製作委員会



吉田美奈子

1969年、当時交流を持った細野晴臣(YMO)や松本隆(作詞家)等に影響を受け、楽曲制作を始める。間もなくシンガー・ソング・ライターとして、ライブ中心の音楽活動を開始。1973年、アルバム『涙の冬』で本格的にデビューの後、CM音楽(1985年・第33回「カンヌ国際広告映画祭」銀賞受賞)制作や、他の歌手などへの楽曲提供(現在までに130曲を超える)、プロデュース、アレンジを含む一人多重録音によるコーラス歌唱等のスタジオ・ワークも行っている。2014年1月現在、オリジナル・アルバム20作品(内1作は、DVD『TRIM』としてリリース。但し、ライブ、ベスト、シングル、企画盤は除く)、コラボ・アルバム3作品、ライブ映像収録DVD等を4作品リリースしている。ジャンルを取り払った自由自在な音楽活動は、クオリティを保ちながらも個性を発揮するミュージシャンとして多方面から共賞を熱望され、常に高い評価を得ている。

10.4(土)よりイオンシネマにて全国公開 (一部劇場を除く)